

年頭のごあいさつ

市長 齊藤滋宣

市民の皆さん、あけましておめでとうございます。

2026年の清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、市政の推進に格別のご協力とご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、天候に大きく翻弄された一年でした。7月までの少雨傾向から一転、8月から9月にかけては記録的な大雨が発生し、被害に遭われた皆さんには、心からお見舞い申し上げます。

また、人の生活圏内でクマの出没が相次ぎ、市民生活に大きな影響をもたらしました。市は、皆さまの安全・安心の確保に引き続き全力を尽くしてまいります。

本市の環境政策として年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「能代市カーボンニュートラル宣言」を行いました。誰もが安心して暮らすことのできる、豊かな環境に満ちたふるさと能代を後世に残すため、市民、事業者、市が一丸となってさまざまな取り組みを推進してまいります。

その具体的な施策の一つでもある洋上風力発電については、「八峰町及び能代市沖」の選定事業者が事業実施に向けて取り組んでおり、また、「能代市、三種町及び男鹿市沖」では国が再公募の準備を進めています。基地港湾である能代港の活用を図るとともに、再

は、昨年7月に、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「能代市カーボンニュートラル宣言」を行いました。誰もが安心して暮らすことのできる、豊かな環境に満ちたふるさと能代を後世に残すため、市民、事業者、市が一丸となってさまざまな取り組みを推進してまいります。

このほか、今年は新しい能代市文化会館フルコンサートグランドピアノのお披露目に向け検討を進めています。また、能代山本広域市町村圏組合において、4月から新たな一般廃棄物

生可能エネルギー導入の効果を地域に最大限波及させべく、事業者に地元企業の活用や雇用の創出、地域共生などを働きかけてまいります。

このほか、今年は新しい能代市文化会館フルコンサートグランドピアノのお披露目に向け検討を進めています。また、能代山本広域市町村圏組合において、4月から新たな一般廃棄物

の具体的な策定が事業実施に向けて取り組んでおり、また、「能代市、三種町及び男鹿市沖」では国が再公募の準備を進めています。基地港湾である能代港の活用を図るとともに、再

したほか、災害の激甚化、物価上昇、少子高齢化や人口減少の進行など、社会情勢には著しい変化があります。こうした中でも、「人ととの”和”」「地域資源で活力を生む”環”」「未来へつなぐ安心の”輪”」といふ3つの”わ”によるまちを実現するため、各種施策を展開してまいりました。

能代が今後さらに「能代わり」発展していくた

め、市民の皆さんからも引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さんにとりまして、輝かしい飛躍の一年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

本市は、来る3月に市制20周年を迎えます。この間、未曾有の感染症を経験

